



# 悲しくなるほど不実な夜空に

宇治田隆史監督作品

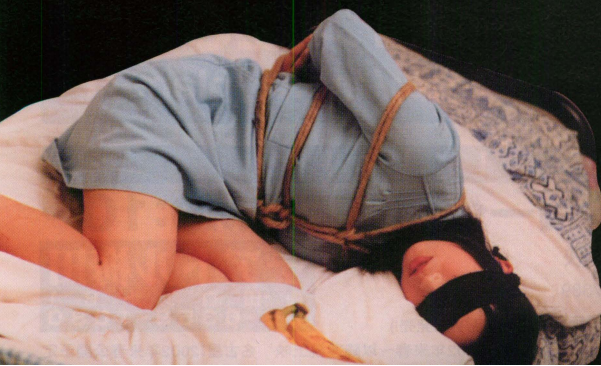
2000年/35mm/カラー/ピスタサイズ(1:1.85)/モノラル/63分  
a Film by Ujita Takashi Ryuko, in the Unfaithful Evening  
2000/35mm/color/Vista(1:1.85)/monoral/63min/Japan

PFF2000「LOVE&SEX」部門特別招待 2000年第18回トリノ国際映画祭招待  
TOKYOFILMeX 2000コンペ部門招待 2001モスクワ国際映画祭デビューキノタブル部門特別招待  
監督/宇治田隆史 音楽/赤犬 脚本/宇治田隆史、向井康介  
撮影監督/近藤龍人、向井康介

出演 葉月瑩 澤田俊輔 古河潤一  
川島佳帆里 小澤義明 前田博通 尾上恵美  
美口やよい 小川トト(劇団「犯罪友の会」)

あんたたち私のウンコで喰ってんじゃない

<http://www.uzfilms.org>





宇治田隆史監督作品 2000年/35mm/カラー/ピスタサイズ(1:1.85)/モノラル/63分  
a Film by Ujita Takashi Ryuko, in the Unfaithful Evening  
2000/35mm/color/Vista(1:1.85)/monoral/63min/Japan



加藤龍子(27)は学校へもいかずまともに就職もしない弟・秀和と失業したばかりの父・松男(52)と地方のアパート暮らし。秀和との諍いもうんざりだが、失業後、氣力を失った父親を見ていると自分が稼がなければならないことをなんとなく気づき始める。それは責任感でも義務感でもない、ただ「家族」である唯一の絆であるようにも見える。やがて龍子は町でAVに出演しその金を家庭に入れるようになる。ある日松男がレンタルビデオ屋の棚に偶然、娘が出演しているAVを見つけてしまう。松男は自分の父親としての無責任さと情けなさから龍子に当たるが……。

## あんたたち私のウンコで喰ってんじゃない

「悲しくなるほど不実な夜空に」は対象から距離を離れた「俯瞰」の映画だ。ホームドラマというのが監督なりのテーマであるが、ここでいうホームドラマとはテレビドラマのジャンルとは何の関わりもない。この寂しげな、しかし決して孤独でもない父親の松男と、不幸を背負ってアダルト・ビデオに出演しているわけでもない長女の龍子、そして犯罪にまはしてしまわないでであろう中途半端な不良の弟・秀和。彼ら三人は互いに執拗に干渉し合うわけでもない。家族は金銭的な理由から小さなアパートに共同で住んでいる三人でしかない。最早、執拗に愛し合ったり、憎み合ったりするまるでドラマのような「家族」はここには存在していないのである。

娘がアダルトビデオに出演したことで一瞬怒りを露にする父親も、弟が財布から遊ぶ金を盗んでいた事実を突き止めた姉の一瞬の怒りも、「あんたたち私のウンコで喰ってんじゃない」という乾ききった一言であっけなく解決するしかない。不実ではあっても、人はそう簡単に悲しくなったりするものではないという乾いた俯瞰の距離感と断片的にも見える構図とカット割り安易なドラマから観客を解放してくれるのである。



# 悲しくなるほど不実な夜空に

○PFF2000「LOVE&SEX」部門特別招待○2000年第18回トリノ国際映画祭招待  
○TOKYOFILMeX 2000コンペ部門招待○2001モスクワ国際映画祭デビューキナパル部門特別招待

## 塩辛いホームドラマ

「多分、脚色されない家族というのは、こんな姿をしているのかもしれない。予定調和を排し、突き放した視点と役者の自然な演技が、ドラマにリアリティを与えている。特に、父親役の素朴な存在感には、目がきづげ!」

木野花(女優/演出家)



## 『70年代生まれ。芸大の二人の異端児』

宇治田隆史はその第一作「浪漫ポルノ」で「鬼畜大宴会」の熊切和嘉とともに登場した。二人とも物静かで互いに最も映画について語り合える仲だったという。卒業制作では熊切がヴァイオリンを軸にショッキングな衝撃を与えたのに対して、宇治田は粘着質なスタイルでスリッパ小屋を舞台にした第一作目「浪漫ポルノ」を作り上げる。それぞれ親友でありながら虎視眈眈と卒業制作で相手を「打ちのめす」チャンス伺っていた。

宇治田は普段穏やかな熊切の思いもかけないパワーに圧倒され、熊切は宇治田の描く「情感」に圧倒された。宇治田の作風は明らかに神代辰巳や田中登ら70年代初頭の「日活ロマン・ポルノ」路線に影響されており、要するに二人は共に彼らが生まれた時代である1970年代の初頭を舞台にした作品を並行して作っていたことになる。「鬼畜大宴会」による60年代という時代の神話の終焉と「浪漫ポルノ」における「うざったい」70年代の始まり。「浪漫ポルノ」には熊切も出演しスリッパ小屋で働く頭の弱い青年役を演じた。

「鬼畜大宴会」が劇場公開された頃、宇治田は前作への思い入れは消えさり、熊切がプロへの第一歩を歩み始めるまでにすでに大学院で次回作「悲しくなるほど不実な夜空に」に取りかかっていた。主演の龍子はピンク四天王作品やインディペンデント映画「百年の絶唱」「京極真珠」のヒロインとして活躍する、劇団「水族館劇場」の葉月登。そして「鬼畜大宴会」に続いて熊切の「空の穴」では寺島進の恋敵を演じた共通の友人の澤田俊輔が弟・秀和を演じている。スタッフは、その多くを「鬼畜大宴会」+「浪漫ポルノ」組出身であり「どんてん生活」組でもある「真夜中の子供シアター」の主要メンバーが、そして音楽は「鬼畜大宴会」「どんてん生活」「空の穴」などで必要不可欠な音楽ユニット、松本章・主宰の「赤犬」が担当した。松本章は現在は自らのレーベル「AMATERA U.S.A.」を立ち上げ、熊切和嘉の「空の穴」、山下敦弘監督「どんてん生活」のサントラを連続して発売し、「赤犬」の集大成CD「赤犬大全」も発売した。

### Cast

○加藤龍子/葉月登(「百年の絶唱」「京極真珠」) ○加藤秀和/澤田俊輔(「鬼畜大宴会」「空の穴」) ○加藤松男/古河潤一 ○梅川お比奈/川島佳帆里 ○夏目高仁/小澤義明 ○犬松作前田博通 ○女子高生/尾上恵美、美口やよい ○将軍/小川ト

### Staff

○監督/宇治田隆史 ○脚本/宇治田隆史、向井康介 ○撮影監督/近藤龍人、向井康介 ○カメラ/近藤龍人 ○照明/向井康介 ○助監督/木村好克 ○撮影助手/藤野ミチル ○制作進行/元木隆史、宇治田隆史、横山浩基 ○美術/和氣俊之 ○音楽/赤犬 ○音楽監督/松本章(「鬼畜大宴会」「どんてん生活」「空の穴」) ○録音/新井誠 ○編集/宇治田隆史 ○編集補/向井康介、近藤龍人 ○タイトルデザイン/西尾真紀 ○協力/鬼プロ、GATE#3 ○制作協力/PLANET Studio+1 真夜中の子供シアター ○製作お茶の間クラシックス ○提供/PLANET studio+1 ○配給/ピターズ・エンド+スリーピン

英雄なき現代に喝をいれるフリーペーパー

からくりげきじょう  
絡繰団場  
E-mail Karakurido@pos.to URL http://Karakurido.pos.to

シネマライブ 2002  
近日開催 <http://go.to/planet1>

全 国 縦 断 公 開 ! ! !

2002年 2/23(土)~3/8(金)レイトショー公開 連日PM9:10~

前売:1300円(近日発売!) 当日一般:1500円 学生:1400円 ★日曜休映  
前売:2作品共通券1800円

※チケットびあ 共通①コード407389

テアトル梅田  
梅田ロフトB1  
06-6359-1080

(「どんてん生活」+「東京ハレンチ天国・さよならのブルース」+「悲しくなるほど不実な夜空に」+「プウテンツキ」うち2作品/近日発売!)

神戸:神戸アートビレッジ・センター2002年来春~以降連続上映 名古屋:2002年来春公開予定